

加西市 防災の手引き

災害への心構え

加西市は播磨平野のほぼ中央部に位置し、北は中国山地の山裾が迫り西と東は台地、南は低い山が連なっています。海には面しておらず、加古川の支流の中の1本である万願寺川とその支流の善光寺川・下里川が主な河川になります。自分がどんな場所に住んでいるのかを知って、災害に対する日ごろの備えと早めの避難を心がけましょう。



1 地域別の災害特性

山間部 ・土砂災害の危険・・・大
・水害の危険・・・中

中央部 ・土砂災害の危険・・・小
・水害の危険・・・大

2 災害に備えて備蓄をはじめよう

大きな災害の後は救援物資がすぐに届かないことがあります。このため加西市では、食料等を住民ひとりひとりが備蓄する市民備蓄を推奨しています。高齢者用、乳幼児用など家族の事情に合わせた食料や、生活必需品などを備蓄しておきましょう。

加西市では、公民館や学校等を避難所として指定しています。日ごろから、自宅や勤務先の近くの避難所を把握しハザードマップ等で危険箇所や、避難経路を確認しておいてください。

なお、災害の発生が予想される場合、加西市が避難所を開設します。その情報は「かさいライフナビ」等で発信され、どなたでも避難することができます。

3 加西市の避難所

加西市では、公民館や学校等を避難所として指定しています。日ごろから、自宅や勤務先の近くの避難所を把握しハザードマップ等で危険箇所や、避難経路を確認しておいてください。

なお、災害の発生が予想される場合、加西市が避難所を開設します。その情報は「かさいライフナビ」等で発信され、どなたでも避難することができます。

4 情報収集手段について

加西市では以下の方法で災害の情報、避難情報をお知らせします。

- 兵庫東河川ライブカメラシステムで映像を発信**
現在の水位映像と平常時の水位映像を配信しています。
- テレビやラジオによる放送**
- 防災スピーカーによる放送**
- 「緊急速報メール」による一斉情報配信**
- 市のホームページ・SNSへの掲載**
- 「かさいライフナビ」スマートフォンアプリ**
お住まいの地区と町(自治会)を選択すると防災・気象等の様々な情報が受け取れます。
- 「かさいライフナビ」アプリ登録方法**
このQRコードからアプリをダウンロード
- 「かさいライフナビ」アプリをダウンロード**
Androidはこちら iPhoneはこちら
- 「かさいライフナビ」アプリをダウンロード**
お住まいの地区と町(自治会)を選択して「決定」
- 「POTEKA(ポテカ)で気象情報入手**
加西市に6カ所設置されている超高密度気象観測システム(POTEKA)は、雨量だけでなく温度、湿度、気圧、風向風速、日射など現在の気象情報をピンポイントで観測しています。集中豪雨のような局所的な気象の急変や、熱中症の危険度など、その場所の現在の気象状況を知ることができます。

5 避難情報の発令について

水害や土砂災害などの際には、5段階の「警戒レベル」で避難情報を発令します。

警戒レベル	状況	避難情報	早めの避難を心がけましょう!
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保	必ず全員が避難
4	災害のおそれ高い	避難指示	必ず全員が避難
3	災害のおそれあり	高齢者等避難	高齢者や障がい者等は避難
2	気象状況悪化	大雨・氾濫・土砂災害 注意報	※警戒レベル3は、高齢者以外の人にも必要に応じて普段の行動を見合わせたり、危険を感じたら自主的に避難を始めるタイミングです
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報	

大雨時や夜間は、避難そのものが危険になります。本格的に雨が降り出す前や、明るい時間帯での予防的避難を心がけましょう。

土砂災害への備え

主な前兆現象

土砂災害が起こる多くの場合、事前に危険と思われる変化が見られます。

- 川が濁った
- 水位が下がった
- 亀裂が走った
- 石が落ちてきた
- 川が濁り、木の枝などが混ざり始めた
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がった
- 山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った
- 山の斜面から石が転がり落ちてきた
- 湧き水が止まった
- 湧き水が増えた
- 井戸水が濁った
- 地鳴りがする
- 今まで枯れたことのない湧き水が、止まった
- 湧き水の量が急に増えた
- 普段澄んでいた沢や、井戸の水が濁ってきた
- 地鳴りの音が聞こえてきた

3つの土砂災害

- 1 げけ崩れ(急傾斜地の崩壊)**
傾斜した土地が崩壊する自然現象。突然崩れ落ちるため、ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。
- 2 土石流**
山肌が崩落して生じる土石などや、渓流の土石などが一体となって流下する自然現象。その流れの速さは、時速20km~40kmで、一瞬のうちには人家や畑などを壊滅させてしまいます。
- 3 地すべり**
地面は何層もの地層が積み重なってできています。大雨が降り続けると、水を通しにくい粘土層の上に地下水がたまり、そこを境にその上の地面がゆっくりとすべり落ちます。

屋内安全確保

土砂災害がすでに起こってしまい、逃げ遅れた場合は建物内の高い場所へ避難

「2階以上」かつ「斜面と反対側」

建物の2階以上で斜面とは反対側の部屋など、屋内の少しでも安全な場所へ避難しましょう。大雨が上がっても、死者ゼロの注意が必要です。

水害への備え

大雨のとき注意すること

大雨の際には普段通っている道でも様子が一変します。知っている場所でも、安易に行動することは危険です。

- 地下街、地下道、地下駐車場などは浸水のおそれがあるので避ける
- 冠水した道路を歩くときは、側溝やマンホールなどに転落しないように注意
- がけ崩れなど土砂災害の危険が高まるので、急斜面などには近づかない
- 浸水した地下空間では、エレベーターは使えません
- 車を運転している場合は、アンダーパスや川沿いなどを通らないようにする
- 増水した川や、田んぼ等の様子は絶対に見に行かない

洪水の際には、浸水した水の深さが0.5m(50cm)程度でも大人のひざの高さになり、歩くことが困難になります。避難時は浸水想定のある道は通らないことが重要です。

家屋倒壊等氾濫想定区域とは

堤防が決壊した場合などに家屋を倒壊させるような激しい流れが発生する区域です。早期の立退き避難が必要になります。

- 1 氾濫流(家屋倒壊等氾濫想定区域)**
堤防が決壊し水が外に流れ出ることで、流れの勢いで一般的な木造住宅が倒壊・滑動・転倒する危険性がある範囲です
- 2 河岸浸食(家屋倒壊等氾濫想定区域)**
川の流れる勢いにより地面が削り取られることで、木造・非木造に関わらず家屋が倒壊する危険性がある範囲です

調べてみよう! 「避難」するにはどうすればいいだろう?

1 「どんな」危険が身のまわりにあるかを「ハザードマップ」で確認しよう

ハザードマップとは?

- 土砂災害や水害の発生が予測される範囲や避難場所などを地図に示したものです。
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 水害の危険
- 水害の危険

2 「どこに」「どうやって」逃げるかを「ハザードマップ」で確認しよう

避難場所を決めるポイント

原則として、**自宅の外に避難**しましょう

加西市の指定緊急避難場所

安全な親戚・知人宅

避難経路を決めるポイント

予定している避難経路が安全かどうかを確認しましょう

川沿いや橋、げけ下などは危険です。できるだけ浸水していない道を通りましょう。

3 「いつ」逃げるかを「避難情報(警戒レベル)」で確認しよう

警戒レベル	状況	加西市より発令される避難情報	防災気象情報等5段階の警戒レベルに合わせて発表	大雨浸水	河川氾濫	土砂災害
5	災害発生又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	レベル5	大雨特別警報	氾濫特別警報	土砂災害特別警報
4	災害のおそれ高い	ひなんしじ 避難指示	レベル4	大雨危険警報	氾濫危険警報	土砂災害危険警報
3	災害のおそれあり	こうれいしゃどうひなん 高齢者等避難	レベル3	大雨警報	氾濫警報	土砂災害警報

警戒レベル4 までに必ず全員が避難!

作ってみよう! 「家族の避難カード」を作ろう!

1 「どんな」危険が身のまわりにあるかを知っておこう!

土砂災害の危険

水害の危険

これらの区域に含まれていなくても、まわりと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、加西市からの避難情報等を参考に必要に応じて避難しましょう。

2 「どこに」「どうやって」逃げるか決めておこう!

避難場所や避難経路をハザードマップで確認しましょう

わたしの非常持出品(荷物は必要最小限で)

- ハザードマップ
- 貴重品
- スマートフォン・携帯電話
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池・バッテリー
- 救急用品、常備薬
- 飲料水
- 非常食(保存食)
- 敷物、ひざ掛けなど
- 衣類、タオルなど
- 軍手、マスクなど
- その他

3 「いつ」逃げるのかを決めておこう!

わたしの家に避難に時間を要する人

- 高齢者
- 赤ちゃんや小さな子ども
- 妊婦さん
- 介助の必要な人
- 病気のある人
- 障がいのある人

警戒レベル3 高齢者等避難

警戒レベル4 避難指示

警戒レベル5 緊急安全確保

逃げ遅れたために避難を安全に行えない場合、より安全な場所に直ちに避難しましょう!

※自宅や近隣の少しでも高い場所 ※斜面から離れた部屋に移動する

わたしの避難するタイミングは 警戒レベル3・4 です

※3いしづれかを○で囲みましょう

緊急時の連絡先

例:加西市役所・親戚宅

災害への備え

事前に確認しておくこと

風水害による被害を抑えるため、日頃から自宅やその周辺の点検・修理・補強を行っておきましょう。

- 外壁・壁の亀裂
- 屋根・雨どい
 - 不安定なアンテナの固定
 - トタンのめくれ
 - 瓦のひび、割れ、はがれ
 - 雨どいにゴミや木の葉の堆積
- 板塀
 - 塀の腐食、傷み
 - 板塀への支柱
- 排水溝
 - 側溝や雨水すにゴミや土砂の堆積
- 窓
 - 窓枠や雨戸のがたつき
 - 窓ガラスの飛散対策
- その他
 - ガスボンベの固定
 - ゴミ箱や植木鉢などの固定
 - 庭木への添水

災害に備えて準備しておきたいもの

災害に備えて準備しておきたいものは家庭の事情によって異なります。ご高齢者や、赤ちゃんや小さな子どもがいる家庭の一例を示しています。災害に備えて、一度家族皆で話し合ってみましょう。

高齢者がいる家庭の例

- 湯で温められるレトルト食品
- 普段から食べている介護食
- インスタントのみそ汁
- 栄養補給ゼリー
- 経口補水液
- どろみ剤
- 使い捨てカイロ
- 持病薬
- お薬手帳
- 紙おむつ
- 入れ歯洗浄剤
- 補聴器の電池
- 血圧計
- つえ
- その他

乳幼児がいる家庭の例

- 防災頭巾、ヘルメット
- レインコート
- マスク、軍手
- 衣料品(特に下着)
- おむつ
- おしりふき(ウェットティッシュ)
- 粉ミルク
- 哺乳瓶(使い捨てタイプ)
- 子どもの食料(母乳に合った)
- 離乳食スプーン
- 食品用ラップ(スプーンや皿に巻けば)
- 紙コップ、ストロー
- 軽くついでおもちや
- 普段使っている薬
- その他

災害への備え

車中泊避難について

安全な場所を探し、可能であれば車中泊も検討しましょう。

エコノミークラス症候群の対策

- 寝る時は体を水平にする
- 同じ姿勢を避ける
- つま先やかかとを上げ下げ、足やふくらはぎをマッサージをする
- ゆったりとした服装で過ごす
- 適度に水分をとる

熱中症や寒さへの対策

- サンシェードなどで日差しを防ぐ
- 防犯対策をして窓を開ける
- 日中はできるだけ車外にいる
- 暑さが厳しい時はエアコンを使う
- ウィンドシェードやカーテンで窓の冷気を遮る
- 夜は寝袋などで体を保温する
- 寒さが厳しい時はエアコンを使う

安全対策

- 坂道に駐車しない
- 人がいない暗い場所を避ける
- 窓にカーを貼るなどして中が見えないようにする

一酸化炭素中毒の対策

- 一晩中のアイドリングは避ける
- ほかの車と距離をとって駐車する
- 窓をこまめに開けて換気する
- 降雪時はマフラー周りを除雪する
- 寝袋は真冬用が便利
- テープひも
- 窓にタオルをつるなどで目隠しにも
- 携帯トイレ、除菌シート、ウェットティッシュ
- 乾電池
- クーラーボックス
- 食料等の保管
- ラップ
- 食器にふせて使えば水を節約
- LEDランタムヘッドランプ
- 予備の充電器が必要
- 着替え
- クレープボックス
- 食料等の保管

車中泊の注意点

ペットと一緒に災害対策!

飼い主とペットが共に災害を乗り越えるためには日頃からの備えが欠かせません。以下に環境省のガイドライン(一部抜粋)を紹介します。

- 飼い主が自らの安全を確保することが、災害時にもペットを適切に飼養することにつながる
- 健康面やしつけを含めたペットの平常時からの適切な飼育が最も有効な防災対策になる
- 災害時にはペットを落ち着かせるとともに逸走やケガなどに注意して、ペットとともに避難する

防災でのキーワード「自助」「共助」「公助」

- 自助:自分とペットの身は自分で守ること
- 共助:近隣住民や飼い主同士の助け合い、広域の助け合い、他の組織を交えた助け合い
- 公助:行政機関などによる支援

大規模な災害では、行政機関などの公的機関による支援ははじまるまでの間、自助や共助により乗り越えなければなりません。災害でペットを守ることは飼い主だけです。飼い主には、まずは自分の安全を確保し、そのうえで、ペットの安全と健康を守り、他者に迷惑をかけることなく、ペットを適正に飼育管理する責務があります。